

様式第2号(第7条関係)

会議の開催結果

1 会議の名称	令和5年度第2回 さいたま市大宮盆栽美術館運営委員会
2 会議の開催日時	令和6年1月26日(金曜日) 午後2時00分～午後4時00分
3 会議の開催場所	さいたま市大宮盆栽美術館 講座室
4 出席者名	小島委員長、大和田副委員長、池田委員、杉山委員、 高嶋委員、谷中委員、松澤委員、三輪委員、森委員
5 欠席者名	砂生委員
6 議題及び公開又は非公開の別	報告 ・オーストラリア・キャンベラ樹木園との姉妹館締結に ついて ・令和5年度 特別展の要項について 議事 ・令和6年度大宮盆栽美術館展覧会事業等について ・盆栽庭園 庭池の改修について (公開又は非公開の別) 公開
7 非公開の理由	—
8 傍聴者の数	0名
9 審議した内容	・令和6年度大宮盆栽美術館展覧会事業等について ・盆栽庭園 庭池の改修について
10 問合せ先	スポーツ文化局 文化部 大宮盆栽美術館 電話番号 048-780-2091
11 その他	

## オーストラリア・キャンベラ樹木園との姉妹館提携について

清水勇人さいたま市長とスコット・サドラー オーストラリア首都特別地域政府立キャンベラ樹木園管理部長による姉妹館提携宣言書の調印を行いました。

### 1 日時

令和5年11月1日（水） 午前10時30分から正午まで

### 2 場所

さいたま市大宮盆栽美術館（北区土呂町2-24-3）

### 3 出席者

オーストラリア首都特別地域政府立キャンベラ樹木園

- ・ Scott Saddler（スコット・サドラー）、Executive Branch Manager（管理部長）
- ・ Leigh Taafe（リー・ターフ）、Curator（学芸員）
- ・ Justin Hayhurst（ジャスティン・ヘイハースト）、Australian Ambassador to Japan（駐日オーストラリア大使）
- ・ Bruce Sullivan（ブルース・サリバン）オーストラリア盆栽コミュニティ NBPCA コレクション諮問委員会長
- ・ Grant Bowie（グラント・ボウイ）オーストラリア盆栽コミュニティ 前学芸員

さいたま市

- ・ さいたま市長 清水 勇人

### 4 調印の内容

学術的情報と物資の交換、お互いの研究の支援、日本とオーストラリアの原生樹木の盆栽を中心とした専門的技術や知識の交換、研究者及びスタッフの交流などを行う。



調印式にて調印するスコット・サドラー管理部長（左）と清水勇人さいたま市長（右）



調印式にて握手するスコット・サドラー管理部長（左）、ジャスティン・ヘイハースト駐日オーストラリア大使（中央）、清水勇人さいたま市長（右）



出席者全員で記念撮影



清水勇人さいたま市長からジャスティン・ヘイハースト駐日オーストラリア大使への記念品贈呈

(参考) オーストラリア首都特別地域政府立キャンベラ樹木園とは

キャンベラ市街から 6 キロに位置し、250 ヘクタール (2.5 平方 km) を超える土地に、4 万 4 千本を超える絶滅の危機に瀕した希少な樹木を集めた世界最大級の樹木園。年間 50 万人以上が訪れている。敷地内にはさまざまな施設があり、オーストラリア盆栽・盆景コレクションは中心的な施設として知られている。

## 令和5年度特別展 開催要項

- 1 名称 特別展「煎茶と盆栽～「盆栽」の夜明け」
- 2 趣 旨 江戸時代後半から大正時代にかけて、上方（京・大阪）の文人（詩書を趣味とする人）たちを中心に、中国の文人文化に範をとった煎茶会が流行した。煎茶会では、飾り道具の一つとして盆栽が取り入れられ、文人趣味に沿う様式に整えられることで、江戸時代以来の鉢植えとは一線を画した、現在の「盆栽」へとつながる大きな変化をもたらされることになった。本展は、今日の盆栽文化の礎が築かれる過程を、煎茶文化との関わりから紹介するものである。
- 本展では、煎茶文化の影響を大きく受け、盆栽に生じた変化を、①呼称、②座敷飾り、③盆器、④盆栽の樹形、の4つの視点から取り上げる。
- ①今日でいう「盆栽」の呼称は、「鉢植え」に代わって文人たちが使用したものであるが、煎茶会図録等に見られる表記・定義の変遷から、「盆栽」という言葉の成立過程を辿る。
- ②盆栽の「床飾り」は現在の盆栽陳列のハレの舞台であるが、従来は土は不浄の物として屋内に入ることはなく、初期の煎茶会でも盆栽は屋外やその近傍に飾られていた。煎茶会が展覧会的要素を強くするのに従い、盆栽が座敷飾りの中心となり、盆栽そのものの陳列会へと変化していった過程を煎茶会図録の挿絵で辿る。
- ③煎茶会に出品される盆栽に供された鉢は、煎茶器と共に中国から輸入されたもので、江戸時代以来の染付鉢に代わり、「泥もの」が重用され、現在の盆栽用植木鉢の典型となっていく。煎茶器と同じ主に中国の宜興窯の泥もの鉢そのものが鑑賞対象として盆栽に用いられる過程を煎茶会図録から読み解いていく。
- ④樹容に由来しない樹形の「文人木」は、文人が模範とした中国の南画に由来するもので、文人木樹形の盆栽と絵画資料の比較を通して、「文人木」のルーツを紹介する。
- 本展では、以上の視点を通して、現在の盆栽文化を構成する要素に、どのような由来・背景があるのかを探っていく。
- 3 主 催 さいたま市大宮盆栽美術館
- 4 会 期 令和6年（2024年）2月10日（土）～3月20日（水祝）  
休館日 木曜日（祝日を除く）  
開催期間 40日間／開館期間 35日間
- 5 会 場 大宮盆栽美術館 ロビー、コレクションギャラリー、企画展示室
- 6 出 品 物 冊子、画卷、掛幅、浮世絵版画、盆器、茶器、盆栽

- 7 点 数 全 40 点程度
- 8 構 成 (1)新たな呼び名―「盆栽」  
(2)新たな居場所―座敷飾り  
(3)新たな装い―泥もの鉢  
(4)新たなかたち―文人木
- 9 関連事業 (1)特別講演「煎茶の精神と文人文化」  
・講 師 工藤宏氏（元入間市博物館学芸員）  
・日 時 3月10日（日）14時～16時  
・会 場 講座室  
・定 員 30名（応募者多数の場合は抽選）  
・参加費 無料  
・申込方法 さいたま市生涯学習情報システム
- (2)スライドトーク「煎茶会図録から見る盆栽文化」  
・講 師 担当学芸員  
・日 時 2月11日（日）13時30分～14時30分  
・会 場 講座室  
・定 員 30名（先着順）  
・参加費 無料
- (3)ギャラリートーク（担当学芸員）  
・日 時 2月17日（土）、3月3日（日）、3月16日（土）  
13時30分から  
・会 場 ロビー、コレクションギャラリー  
・定 員 設定なし  
・参加費 当日の観覧券が必要
- 10 観覧料 通常の観覧料とし、特別料金は徴収しない。
- 11 出版物 図録（A4判縦、36ページ、1,000部、販売価格600円（予定））
- 12 印刷物 ポスター、チラシ
- 13 広 報 市報さいたま2月号、当館HP及びSNS、広報用ポスターチラシの配布、  
ニュースレター、記者発表等
- 14 担 当 さいたま市スポーツ文化局文化部大宮盆栽美術館  
事業係 田口、立石

## 令和6年度 大宮盆栽美術館展覧会事業等について

### 1 展覧会事業

#### (1) 通常展 2回

- ・ 季節感を重視し、収蔵品の盆栽、盆器、水石を主に紹介する展示  
季節の展示「盆栽展〈四季〉」
- ・ 盆栽及び大宮盆栽村の歴史と文化を紹介するパネル展示及び収蔵資料展示  
歴史と文化「盆栽クロニクル—年代記—」

#### (2) 企画展 5回

- ・ 季節感を念頭に、当館所蔵品には少ない樹種等の特集展示  
「さつき盆栽展」
- ・ 盆栽と関連する水石、盆石等の縮景表現に関する特集展示  
「水石展」、「盆石展」(仮称)
- ・ 盆栽関連団体との共催展  
「第33回作家展(日本盆栽作家協会)」
- ・ 子ども向け展示(夏季、冬季)  
「夏休み子どもぼんさい美術館」

#### (3) 特別展 1回

盆栽文化に関するテーマを設け、主に外部団体等からの借用による大規模な展覧会  
「見る、知る、楽しむ～おもちゃ絵“盆栽づくし”」(仮称)

浮世絵版画の分類の一つである「おもちゃ絵」に、「ものづくし絵」がある。一つの題材を多数集めて標本図鑑のように一覧とした図で、子ども向けの玩具として、また、明治期には図鑑的性質を生かした学校教材としても使用された。

ものづくし絵の多様な題材の一つとして、江戸の園芸文化を背景とした「はちうえづくし」、明治期には「盆栽づくし」と称した多くの図が版行されている。碁盤目状に配置された盆栽の図は、いずれもよく見られた植物がほとんどで、その特徴をよく捉え、図の傍らには植物名を記載する図も多い。植物種を鉢植えの形状で表すことは、同時代の園芸植物の在り方を示し、鉢植え・盆栽として園芸植物が生活に根付いていた実態を明確に物語っている。

本展では、個人収集家の所蔵品を中心に、特に盆栽を取り上げたものづくし絵を通して、植物の特徴や名称を個別的に、また総覧して「見て、知る」、もの尽くし絵ならではの楽しみを来館者に伝えることを目的とする。

通常展、企画展、特別展一覧

展覧会名	会期	G	企
(1) 通常展			
季節の展示「盆栽展〈四季〉」	20週程度	○	
歴史と文化「盆栽クロニクルー年代記ー」 ※所蔵品展を含む	①4月6日～7月3日 ②9月7日～9月18日		○
(2) 企画展			
「さつき盆栽展」	5月24日～6月2日	○	
「水石展」(仮称)	7月19日～8月28日	○	
「夏休み子どもぼんさい美術館」	7月20日～8月28日		○
「盆石展」(仮称)	9月6日～9月18日	○	
「第33回 作家展(日本盆栽作家協会)」(共催)	10月～11月	○	
(3) 特別展			
「見る、知る、楽しむ～おもちゃ絵“盆栽尽くし”」(仮称)	10月～11月		○

※G：コレクションギャラリー／企：企画展示室

## 2 普及事業

### (1) 定例講座

- ・盆栽ワークショップ 第3日曜・1回(定員10人)
- ・子ども向けワークショップ 第3日曜・1回(定員10組)
- ・盆栽実技 第4土曜・1回(定員30人)
- ・盆栽相談デー 第4日曜・1回(定員9人)
- ・ギャラリートーク 第1日曜、第3土曜・各1回

### (2) 特別講座等

- ・夏休みワークショップ 7月～8月、全10回(定員各10人)
- ・出張講座、講演 随時
- ・国際ショナルギャラリーカイト 不定期、CIR担当

### (3) 学校連携

- ・校外学習の受け入れ(令和6年1月募集開始) ※バス借上げ事業
- ・市立小学校へのお出張授業(事業計画を検討中)

- ・未来くるワーク、教員研修、博物館見学実習の受入れ

#### (4) ミュージアム・サポーターの育成、運営

- ・登録者

38人（令和5年度）※令和6年2月に継続意向調査及び若干名を募集。

- ・活動内容

①ガイド（GW庭園ガイド、ウェルカムミュージアム！、団体ガイド）

②学校見学の対応

③ワークショップ補助

④資料整理

⑤さいたま国際盆栽アカデミー補助

- ・サポーター研修〔定例研修（月1回）、OJT研修（随時）〕

### 3 その他

#### (1) イベント事業

- ・「ゆかた de 盆美」

期間 7月中旬～8月下旬

内容 ゆかた、甚平、和服着用で来館すると観覧料無料とするイベント。

#### (2) 館外イベント出展事業（アウトリーチ活動）

### 4 調査研究活動

#### (1) 大宮盆栽村の開村100周年記念事業（R7年度）に向けた調査研究

- ・村の歴史と文化に関する資料調査（九霞園資料（目録化及び8mmフィルムのデータ化完了）、新聞記事、各種地図、市博所蔵資料等）、関係者ヒアリング調査
- ・展示及び普及プログラム計画の作成
- ・図録計画の作成及び原稿執筆
- ・各種資料の目録作成

#### (2) 令和6年度特別展の開催に向けた調査研究

- ・関係資料の調査研究、解説文等原稿執筆
- ・普及プログラムの検討・計画

### 5 さいたま国際盆栽アカデミー

#### (1) 日本人向け初級コース

講座数	全 7 回 内訳：講義 3 回、実技 4 回
開催時期	6 月～令和 7 年 3 月
クラス数	2 クラス
定員	16 名（1 クラス 8 名）

(2) 日本人向け中級コース

講座数	全 8 回 内訳：講義 3 回、実技 5 回
開催時期	9 月～令和 7 年 3 月
クラス数	2 クラス
定員	12 名（1 クラス 6 名）

(3) 日本人向け上級コース

講座数	全 10 回 内訳：講義 3 回、実技 7 回
開催時期	6 月～令和 7 年 3 月
クラス数	1 クラス
定員	6 名

(4) 外国人向け中級コース

内容	大宮盆栽村盆栽園主による講義・実技
講座数	全 1 回 ※1 回 2 時間程度
開催時期	9 月～令和 7 年 3 月 ※事前予約制
開催数	2 回（1 回 1 組）
定員	2 組（1 組 30 名未満）

(5) 外国人向け上級コース

内容	大宮盆栽美術館における培養管理の現地研修
開催時期	相談に応じる
期間	相談に応じる
対象	姉妹館提携先職員
定員	1～2 名

## 4 議事（2） 盆栽庭園 庭池の改修について

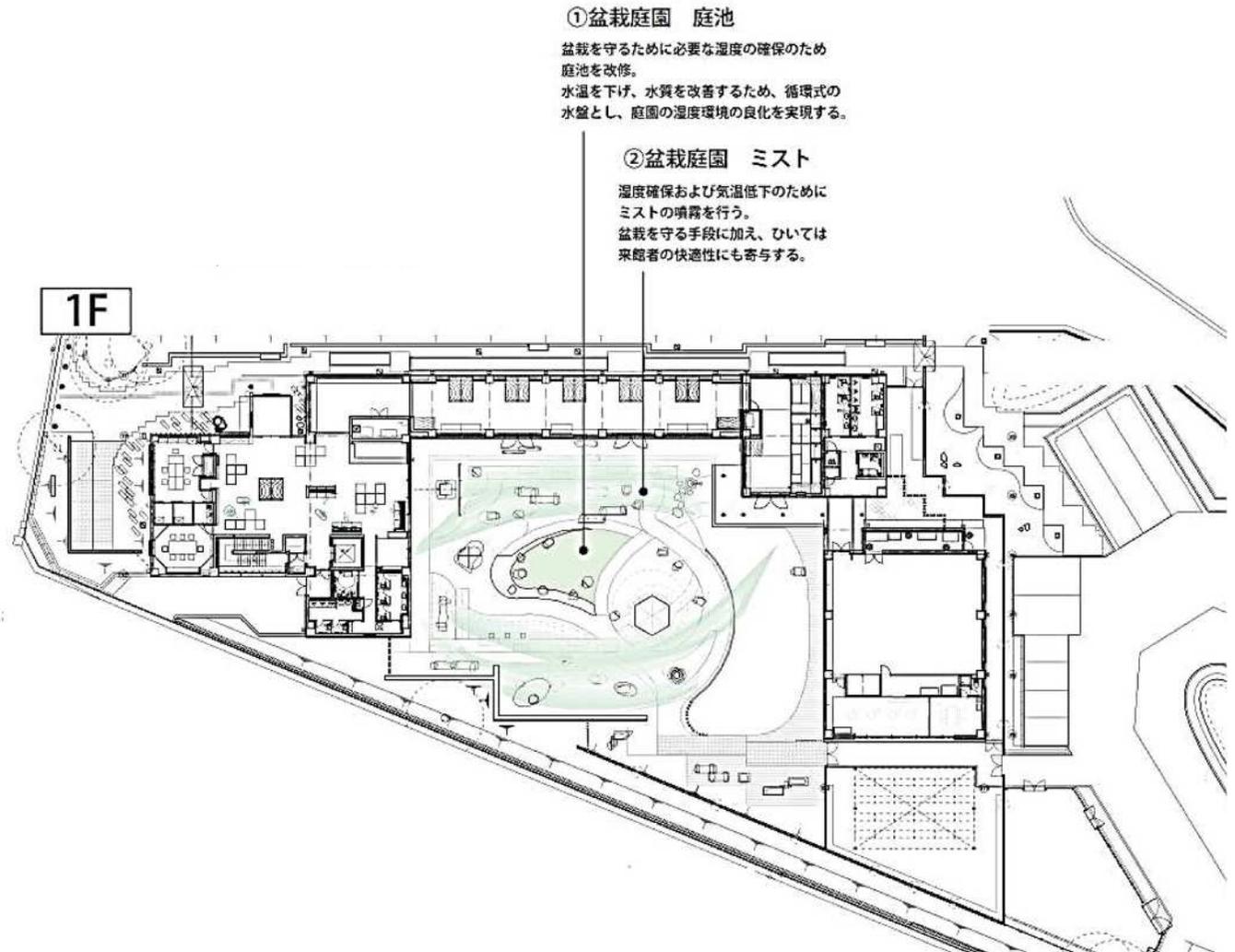
### 盆栽を守る環境づくり

盆栽村100周年に向け盆栽を“守る”ためのより良い環境づくりを最優先で整備。

- ・庭園の温度を下げる
- ・庭園の湿度を上げる

を実現し、貴重な盆栽を守る理想的な環境をつくる。

- ①庭池の改修
- ②ミストの設置

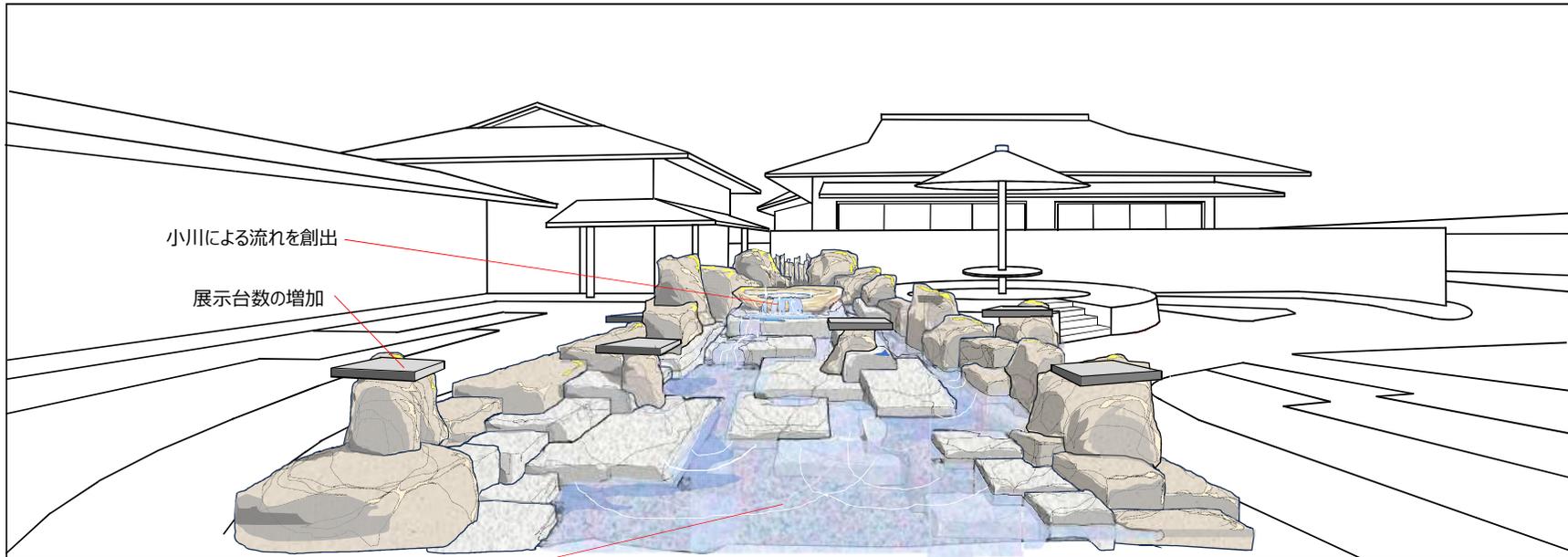


# 庭池イメージ

- ・ 小川による流れを創出
- ・ ため池を水盤に変更
- ・ 展示台数の増加
- ・ より庭園と調和する池に



庭池・現況



小川による流れを創出

展示台数の増加

ため池を水盤に変更

## 想定スケジュール

R6	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
内容	契約準備	→			契約	設計	→		改修開始	→			新規オープン
								← 休館 →					